

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 23日

事業所名 三草二木西園寺

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			フィットネスクラブと併用して利用している	
	2 職員の配置数は適切である	○			多機能型による柔軟な見守り体制がある	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		段差はある部分は、スロープ等での都度対応	段差が多く、つまずきやすい箇所は見守りが必要
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			全スタッフでの毎月会議開催	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			結果をもとに業務内容を見直している	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			毎年HPIにて公開	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	法人内の他事業所のスタッフでの巡回チェックを実施	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			内部・外部研修の活用	研修後に事務所内での報告会の実施を行っている。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			発達段階に応じた年1回のアセスメントを実施	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			満足度アンケートを実施し、必要に応じて反映させている また自己選択の機会を増やし、柔軟に対応できるようにしている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			それぞれの個人・家庭状況に応じた支援を実施している	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				その日の体制上、朝礼に参加できない場合は引継ぎノートを活用している
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			夕礼の実施	送迎時間によってできない場合もある為、法人内のSNSツールを活用して情報共有・伝達を行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○					
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			相談員を通して情報共有を図ったり、送迎時の直接的な会話やFAXで学校側と連絡を取り合っている	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			体制は整っているが、実績はなし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			・全員ではないが幼少時や以前利用していた事業所と情報を共有しているケースがある。 ・相談員の方を通して情報を共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○				事業所の特性上、平日頃から地域の高齢者や子どもと関わる機会が多い
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			小松市自立支援協議会への参加	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳や電話、送迎時の引継ぎを密に行っている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約や見学の際、伝えている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者の様子や、子どもの様子をみてこちらから声をかけることや、必要に応じて相談を受けることがある。 ・各家庭の相談を随時聞いている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	事務所や各サークルの自由見学	毎年保護者会を開催しているが、近年コロナ禍もあり未実施
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情があった場合は、早急にスタッフ間で情報共有を行い解決策をだしている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			月1回、お知らせ(プログラムや連絡事項など)を配布	
	35	個人情報に十分注意している	○			鍵付き棚の利用や利用方法についての規定整備	
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			絵カードやツールの利用	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			地域の方といつも触れ合える事業所のため、行事も地域密着型で行っている。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各マニュアルを策定し職員に周知している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			近くの消防署で見学や防災訓練を行った	地域の自主防災訓練に参加している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			月1回の虐待防止委員会を開催	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			マニュアルはあるが、身体拘束を要する利用者はいない	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			おやつ購入時に名前・顔写真にてアレルギー確認を行っている。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット報告書を集積して保管し、随時閲覧できるようにされている。		